

浜松市議会議員

田口 章 後援会  
だより

お気軽にどうぞ  
昼 053 - 447 - 3820  
夜 053 - 440 - 7100

平成 21 年 8 月 1 日

創ろう！元気な浜松

# 財政運営は概ね良好

## 浜松市 平成 20 年度 決算速報

7/23 に決算速報が公表されました。主な指標をご報告します。( は 19 年度の略です)

### 一般会計の「実質収支」は 73.7 億円( 61 億円)。

「実質収支」の見方としては、「実質収支比率」という指標があります。赤字は絶対ダメですが、単年度主義の原則「その年度の“支出”はその年度の“収入”でまかなう(注)」からすれば、一般的には 3~5%くらいが望ましいとされています。

計算式は、「実質収支 ÷ 標準財政規模」で求められます。浜松市の標準財政規模は、財政課に聞いたところでは約 1825 億円ということですので、実質収支比率は 4.0%となり、一般的には、標準的な予算執行だったといえます。

なお、上記(注)の逆「その年度の“収入”はその年度に“使う”ことを、単年度主義と解釈すると、いわゆる「使いきり予算」的な発想になってまいります。これをしっかりチェックする必要があります。

### 「市税収入」は 1369 億円( 1374 億円)と 5 億円の減少。

とりわけ「法人市民税」は 26 億円の減( 162 億円、 188 億円)。21 年度はさらに厳しくなりますし、法人だけでなく、「個人市民税」への影響も不可避です。

### 「経常収支比率」は 86.1%( 86.4%)。

この指標は、人件費・扶助費(社会保障費等)・公債費(借金返済)など、どうしても払わざるを得ないおカネの比率のことです。数値が高いと財政運営が硬直化して政策的事業にお金が回せないこととなります。

少子高齢化の中、扶助費の増加は不可避ですので、人件費の適正化や借金を減らす取り組みが必要になります。

### 「総市債残高」は 5380 億円( 5493 億円)。

厳しい財政事情ではありますが、113 億円の借金削減を行っています。

ちなみに昨年度末からの推移は、次の式となります

$$\text{残高} - \text{償還(返済)} + \text{借入} = \text{残高}$$

それぞれ数字を入れると  $5493 - 540 + 427 = 5380$  億円 となります。

「中期財政計画」では、年度末 5440 億円を予定していましたので、計画比 60 億円の前倒しとなります。さすがは、「こどもにツケを残さない」やすとも市長です。

### 決算速報の詳細内容は浜松市のサイトでご覧になれます。

浜松市トップ 情報のひろば 市政(IR 情報・財政) ・決算(平成 20 年度決算速報)



# 7月の視察報告(抜粋)

7月は会派で視察調査を2回実施しました。視察先とテーマは右のとおりです。

ここでは、その中から一部を抜粋して掲載します。詳しくはブログ【創ろう！元気な浜松】にレポートを載せてありますので、そちらをご覧くださいと思います。

## 1. ニセコ町視察

### 情報公開と住民参加によるまちづくり

ニセコ町は人口 4667 人、面積 197km<sup>2</sup>、スキー場などの観光産業と農業が中心の小さな町です。前町長(現衆議院議員)が、小さな町が生き残っていくため、積極的な情報公開を進め、自立したまちづくりを行っています。

そのベースは「まちづくり基本条例」(自治基本条例)。平成 12 年に策定し、まちづくりの二大原則を「情報共有」と「住民参加」と決めました。

また平成 17 年には「議会の役割と責務」も盛り込み改正しています(議会基本条例のようなもの)。

### 情報共有の仕組み

はじめに「文書管理システム」を導入しました。これは、まず、職員間で情報共有するための仕組みで、「担当者がいないとわからない」という点を改善したものです。

毎年度の予算も「もっと知りたい今年の仕事」という冊子にして、全世帯に配布しており、事業内容を町民にわかりやすく説明しています。

また、職員による「町民講座」(出前講座)のほか、直接、町長と意見交換できる場も設定しています。

### 住民参加

「学習交流センター」「堆肥センター」「一般廃棄物最終処分場」など町施設の整備も町民が参加して行われ、有償無償ボランティアが運営したり、町民全体でごみの減量に取り組む等の成果をあげています。

街路整備事業も住民参加で行い、都市景観大賞など多数を受賞しています(写真の街並み)。

### 情報共有と住民参加をともに実現する一石二鳥の仕組み

情報共有と住民参加を両立する仕組みの一つに「まちづくり委員会」があります。市政モニターのようなものですが、「まちづくりサポート事業」(住民協働助成補助金)の審査も行っているとのこと。

また未成年者の町政参加を保障するために「小学生・中学生まちづくり委員会」、「子ども議会」を平成 13 年度からスタート。子ども独自の視点で議論、提言をしているということです。

### 【所感】

情報共有では、“わかりやすい” 広報がなされていました。小中学生でもわかるような市政(町政)情報を提供し、それによって住民参加が増えるという好循環を、ニセコ町は実践しています。

浜松においても「市民協働」がキーワードとなっていますが、「お任せ民主主義」から脱却し「市民協働」を進めるためには、場の設置やキーマンの育成、そしてなにより情報公開が必要だと思います。

人口 5 千人弱、年間予算 42 億円の町と、80 万人、4500 億円の政令市を同列に論じることはできませんが、姿勢や考え方など学ぶことは多々あります。

## 1. 北海道視察

【札幌市】 7/7(火) 14:45 ~ 17:00

区役所機能と本庁の役割分担  
提案型公共サービス民間活用事業  
音楽のまちづくり

【函館市】 7/8(水) 13:20 ~ 15:30

函館国際水産・海洋都市構想  
雇用創出計画

【ニセコ町】 7/9(木) 14:10 ~ 15:50

情報共有と住民協働によるまちづくり

【小樽市】 7/10(金) 10:30 ~ 11:40

インフルエンザ対策

## 2. 市内視察(7/3・22・23)

【北区・西区・浜北区・天竜区】

区政課題と地域の特徴



ニセコ町の「綺羅街道」。街路整備事業も住民協働で実施。電線の地中化の他、住民の手で白いテーブルとイスが置かれ、店舗にはそれぞれの店を表すオブジェが懸かっている。

## 2. 区視察

区役所機能と本庁との役割分担の検討にあたり、市民クラブでは、合併前の旧浜松市以外の市町村を持つ4つの区役所を訪問し、区の課題や特徴を調査しました。区割りのあり方や、区役所機能など、根本的な課題解決に向けた方策は、まだ、まとまっていませんが、気になった点をいくつか記載します。

### 「市民協働」について

上記のニセコ町でも触れましたが、「市民協働」は今後の地方自治のキーワードのひとつです。しかし意識の差が、かなりあると感じました。一般的に小さな自治体ほど住民と役場との関係は密接です。

よく言えば「住民との一体感が強い」ってことです。しかし、それは「お役所まかせ」で良いということではありません。まだまだ住民自治が十分でないところがあると感じました。

### 「資産経営(ファシリティ・マネジメント)」について

これまでも何度か指摘していますが、高度成長期には、借金をし、競ってインフラ整備を進めたものです。中には、今となっては身の丈を超えるものもあるのではないのでしょうか。

たとえばホール機能を持つ施設や博物館、学校や旧庁舎などの中にも、多くの遊休施設があります。これらをいかに再編、有効活用していくかは、浜松市全体で考えていかなばならない課題です。



三ヶ日公民館にある「民俗資料室」。珍しい銅鐸など貴重な展示品がありますが、普段は見ることはできません。

## 【コラム】 行革審の「意見書」

4年にわたり浜松の市政を鋭くチェックした「浜松市行財政改革推進審議会(行革審)」。今月をもって任期が終了し、鈴木修会長以下、企業経営者と労働者代表の委員は、2期4年の任期が一区切りとなりました。

4年間で93回もの審議会・勉強会を開催され、372時間34分もの時間をかけてくださったことに感謝を申し上げるとともに、本来ならば、こうした市政のチェックは議会の役割であることから、私たち議員の果たすべき責任を、あらためて痛感したところです。

10月から第3次行革審がスタートしますが、市政のチェックは、一義的には「議会の役割」と受け止め、今後、しっかりと責務を果たしていきます。

### 「意見書」の主な内容

#### 1. 行政区の廃止または削減

##### (1) 行政区の廃止

浜松市に行政区を設ける必然性はないと考える。

市民に行政区を置かない場合の執行体制を示し、設置もしくは廃止の判断を求めること。

行政区必置制度の廃止を求め、国に地方自治法の改正を要望すること。

##### (2) 行政区の削減

行政区は都市の将来像を描くまとまりとして、3区程度に削減すること。

行政区の削減にあわせ、簡素な市の組織に再構築すること。

#### 2. 議会の改革

##### (1) 議員定数の削減、調査機能の充実、議員報酬の引き上げ

議員定数を削減すること。

独立した調査機関の設置など、議会・議員の調査機能を充実すること。

定数削減にあわせ、議員報酬を引き上げること。

##### (2) 一市一選挙区制の実現

浜松市には一市一選挙区制が望ましい。

行政区と異なる選挙区を設けることができるよう、国に対し制度改革を要望すること。

#### 3. 区協議会の充実

地域の多様な意見に耳を傾け、幅広い市民の意見を市政に届ける仕組みを強化する必要がある。

区協議会が「地域の声のとりまとめ役」、「市民協働の要」としての機能を発揮できるよう、委員定数を増員し、支援体制も充実すること。

## 【最近のブログから】 えこはま (7/30)



今日の午後は西部清掃工場(西区篠原町)にある「えこはま」を訪ねました。

ここではゴミを通して環境について楽しく学ぶことができます。

ちょうど夏休みでもあり、「自由研究」に来る子どもたちも多いようです。

写真は事務所 2 階。「はまみ博物館」と名づけてありましたが、遠州灘海岸の漂着物などをとおして環境を考える展示を実施中です。



1階にある「リユース工房」では、不要になった家具を修理再生して、安価で販売しています。

「これが不要品!？」と言いたくなるようなステキな家具がたくさんありましたヨ。

また「おもちゃ病院」もあり、こわれたおもちゃを修理してくれます。

8月には各種講座も多数用意しているとのこと。ぜひ親子でお楽しみいただければと思います(下記のページをご覧ください)。

えこはまのイベント情報

<http://www.hgw.co.jp/seisou/event/index.html>

「創ろう! 元気な浜松【浜松市議会議員 田口 章】」

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

## 7月の主な活動

- 01(水) 市制記念日
- 02(木) 全員協議会・本会議  
(6月臨時会閉会)  
堀留川を考える住民会議
- 03(金) 市民クラブ市内視察(北区)
- 06(月) 浜松市議会政務調査研究会  
行革特別委員会(傍聴)  
斉木武志を育てる会
- 07(火)~10(金) 市民クラブ視察  
札幌市・函館市・ニセコ町・小樽市
- 10(金) 行革審(傍聴)
- 15(水) 本田技研労組意見交換会
- 16(木) 自治体総合フェア(東京)
- 20(日) スズキ労連労使会議
- 22(水) 市民クラブ市内視察(西区・浜北区)
- 23(木) // (天竜区)  
がんばれ斉木・民主党演説会
- 25(土) 大平台夏まつり  
入っ子チャレンジキャンプ
- 27(月) 市政報告(スズキ磐田)
- 28(火) 行革特別委員会(傍聴)
- 30(木) 厚生保健委員会
- 31(金) 浜松市労福協意見交換会

## 8月の主な予定

- 01(土) 政策事業外部評価(傍聴)
- 02(日) スズキ労組マイホームセミナー
- 04(火) 決算審査研修(名古屋)
- 05(水) 静教組意見交換会(静岡)
- 06(木) 市民クラブミーティング  
入野地区自治連会議
- 07(金) 自治体経営改革研修(名古屋)
- 08(土) 入野地区ふるさと夏まつり  
佐鳴湖花火大会
- 09(日) 佐鳴湖クリーン作戦
- 15(土) 戦没者追悼平和記念式
- 19(水) 市政報告会(入野鶴亀会)
- 20(木) 市政報告会(スズキ高塚)
- 22(土)~23(日) バイクのふるさと浜松
- 24(月) 静岡県市町村議会議員研修会
- 25(火) 厚生保健委員会
- 26(水) 連合浜松意見交換会
- 27(木) ワークライフ懇話会
- 28(金) 全員協議会(議案配布)
- 30(日) 衆議院選挙投票日

【編集後記】いよいよ解散、総選挙となりました。少子高齢、人口減少社会の今、これまでのビジネスモデルは大きく転換しています。政治だけがこれまでと同じというわけにはいきません。さまざまな仕組みの中で溜まった垢を洗い流し、これからの時代にふさわしいシステムに変えていく必要があります。梅雨明けはまだですが、暑い(熱い)夏になりそうです。(章)